

bizhub 4050

すぐに使える簡単設定ガイド



目次

- 1. はじめに
- 2. 本機の概要
- 3. 用紙のセット方法
- 4. 本機の初期設定
- 5. 基本的な使い方
- 6. 索引

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶	1-2
1.2	マニュアル体系について	1-2
	冊子マニュアル	1-2
	User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド	1-2
1.3	User's Guide CD-ROM について	1-3
1.3.1	動作環境	1-3
1.3.2	トップページの表示のしかた	1-3
	Windows をお使いの場合	1-3
	Mac OS をお使いの場合	1-3
1.4	本文中の表記や記号について	1-4
	手順文について	1-4
	本文中の記号について	1-4
	製品やキーの名称について	1-4
	アプリケーション名の表記について	1-4

2 本機の概要

2.1	本機について	2-2
2.1.1	各部の名前	2-2
	前面	2-2
	背面	2-3
2.1.2	オプションの構成	2-4
2.2	電源について	2-6
2.2.1	電源スイッチ／電源キーの場所	2-6
2.2.2	電源スイッチを ON/OFF する	2-7
2.2.3	電源キーを使う	2-8
	パワーセーブキーとしてお使いの場合	2-8
	副電源 OFF キーとしてお使いの場合	2-8
2.3	操作パネルについて	2-9
2.4	タッチパネルの操作	2-11
	タップ	2-11
	フリック	2-11
	テンキーの表示	2-11
	入力／選択画面の切換え操作	2-12
	タッチパネル使用上のご注意	2-12
2.5	トップメニューについて	2-13
2.6	文字入力のしかた	2-15

3 用紙のセット方法

3.1	用紙について	3-2
3.1.1	対応する用紙の種類を確認する	3-2
3.1.2	対応する用紙サイズを確認する	3-3
3.1.3	使用上のご注意	3-4
	使用できない用紙	3-4
	用紙の保管のしかた	3-4
3.2	手差しトレイにセットする	3-5
3.3	トレイ 1 にセットする	3-7

4 本機の初期設定

4.1	ネットワーク接続の準備（管理者向け）	4-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	4-2
	IP アドレスを割当てる	4-2
4.2	ファクスの準備（管理者向け）	4-3
	モジュラーケーブルの接続を確認する	4-3
	お使いの電話回線の種類を指定する	4-3
	構内回線（PBX）環境で使うための準備をする	4-3
	ファクスの受信方法を選ぶ	4-3
	発信元情報を登録する	4-3
	本機の日時を設定する	4-3
4.3	セキュリティの設定（管理者向け）	4-4
4.3.1	ハードディスク（HDD）の設定	4-4
4.3.2	[簡単セキュリティ設定] の設定	4-4

5 基本的な使い方

5.1	プリント機能を使う（Windows 環境の場合）	5-2
5.1.1	プリンタードライバーについて	5-2
5.1.2	印刷の準備（ネットワーク接続）	5-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	5-2
	ネットワーク設定を確認する	5-2
	プリンタードライバーをインストールする	5-3
5.1.3	印刷の準備（USB 接続）	5-5
	インストール設定を変更する（Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2）	5-5
	プリンタードライバーをインストールする	5-6
5.1.4	プリンタードライバーの初期設定	5-8
5.1.5	印刷のしかた	5-9
5.2	スキャン送信機能を使う	5-10
5.2.1	スキャン送信機能でできること	5-10
5.2.2	送信のしかた	5-11
5.3	ファクス機能を使う	5-13
5.3.1	ファクス機能について	5-13
5.3.2	送信のしかた	5-14
5.3.3	ファクス送信機能の紹介	5-16
5.3.4	ファクス受信機能の紹介	5-16
5.3.5	インターネットファクス機能の紹介	5-16
5.4	コピー機能を使う	5-17
5.4.1	コピーのしかた	5-17
5.4.2	コピー機能の紹介	5-19
5.5	USB メモリー内のファイルを印刷する	5-20
	対応する USB メモリー	5-20
	印刷のしかた	5-21
5.6	宛先を登録する	5-22
5.6.1	短縮宛先について	5-22
5.6.2	短縮宛先を登録する	5-22
	設定メニューから登録する	5-22
	スキャン送信モード／ファクスモードのトップ画面から登録する	5-26

6 索引

1

はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。詳しい機能や、操作方法をお知りになりたいときは、User's Guide CD-ROM に収録されているユーザーズガイドをごらんください。

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前に [セーフティインフォメーションガイド] を必ずお読みください。

1.2 マニュアル体系について

冊子マニュアル

マニュアルの名称	概要
[すぐに使える簡単設定ガイド] (本書)	本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。
[セーフティインフォメーションガイド]	本製品をお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しております。 製品のご使用前に必ずお読みください。

User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド

マニュアルの名称	概要
[ユーザーズガイド はじめにお読みください]	本機の各部の名前、電源の ON/OFF、操作パネルの使い方、原稿／用紙のセット方法など、はじめに知っておいていただきたいことを説明しています。
[ユーザーズガイド プリント機能編]	プリンタードライバーのインストールから、基本／応用の使い方を説明しています。
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーのいろいろな使い方を説明しています。
[ユーザーズガイド スキャン機能編]	スキャン送信の操作方法や、必要な準備を説明しています。紙文書をスキャンして、電子データに変換し、コンピューター やサーバーに送信できます。
[ユーザーズガイド ファクス機能編]	ファクスの操作方法や、必要な準備を説明しています。
[ユーザーズガイド ネットワークファクス機能編]	ネットワーク回線を使ったファクス（インターネットファクス）の操作方法や、必要な準備を説明しています。
[ユーザーズガイド PC-FAX 機能編]	PC-FAX の操作方法や、必要な準備を説明しています。コンピューターで作成した原稿データを、紙に出力することなく、そのままファクス送信できます。
[ユーザーズガイド 拡張機能編]	オプションのライセンスキットの導入方法およびライセンスキットを導入することでご利用いただける機能について説明しています。
[ユーザーズガイド メンテナンス／トラブルシューティング]	消耗品の交換や、本機のお手入れのしかた、トラブルの対処方法を説明しています。
[ユーザーズガイド 設定キーの説明]	装置の設定メニュー（[ユーザー設定]、[管理者設定] 等）の設定内容を説明しています。
[ユーザーズガイド 応用機能編]	Web Connection の使い方や、プリンタードライバーの手動インストール、Linux での印刷設定、認証装置の使い方など、本機の特殊な使い方を説明しています。

1.3 User's Guide CD-ROM について

User's Guide CD-ROM は、本機に同梱されています。CD-ROM には、本機をご利用いただく際に必要なユーザーズガイドが収録されています。

トップページから、見たいユーザーズガイドのボタンをクリックしてください。ユーザーズガイドの PDF ファイルが立ち上がります。

1.3.1 動作環境

項目	説明
対応 OS	Microsoft Windows Vista (SP2) / Windows 7 (SP1) / Windows 8 / Windows 8.1 Apple Mac OS X 10.4/10.5/10.6/10.7/10.8/10.9
対応ブラウザー*	Windows の場合 <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 7.x/8.x/9.x/10.x (デスクトップ版) /11.x (デスクトップ版) Firefox 3.5 以降 /ESR 10.0 以降 Mac OS の場合 <ul style="list-style-type: none"> Safari 2.x/3.x/4.x/5.x/6.x/7.x
必要なアプリケーション	Windows の場合 <ul style="list-style-type: none"> Adobe Reader 9.x/10.x/11.x Mac OS の場合 <ul style="list-style-type: none"> Adobe Reader 8.x/9.x/10.x/11.x
ディスプレイの解像度	1024 × 768 ピクセル以上

* JavaScript が有効になっていること



参考

Adobe Reader をインストールすると、ブラウザーで PDF を開くためのプラグインが有効に設定されます。Windows をお使いの場合は、Adobe Reader で直接 PDF を開くように、Adobe Reader の環境設定から設定を変更してください。詳しくは、Adobe のヘルプページをごらんください。

1.3.2 トップページの表示のしかた

Windows をお使いの場合

Windows Vista/7 は、コンピューターの CD-ROM ドライブに CD を入れると自動再生に関するメッセージが表示されます。[rundll32.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Windows 8/8.1 は、コンピューターの CD-ROM ドライブに CD を入れると、ディスクに対して行う操作を選択するようにメッセージが表示されます。[index_win.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Mac OS をお使いの場合

デスクトップ上の CD アイコン、[index.html] の順にダブルクリックするとトップページが表示されます。

1.4 本文中の表記や記号について

手順文について

✓ このチェック記号は、手順の前提となる条件を説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

本文中の記号について

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。



参考

トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。



参照

トピックに関連した機能を参照できます。



関連設定

トピックに関連したどなたでも変更できる設定を紹介しています。



関連設定 (管理者向け)

トピックに関連した管理者向けの設定を紹介しています。

製品やキーの名称について

本文中の表記	説明
[]	タッチパネルのキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。
太字	操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称などを表します。

アプリケーション名の表記について

本書では、アプリケーション名を以下のように表記しています。

アプリケーション名	本書の表記
PageScope Web Connection	Web Connection

2

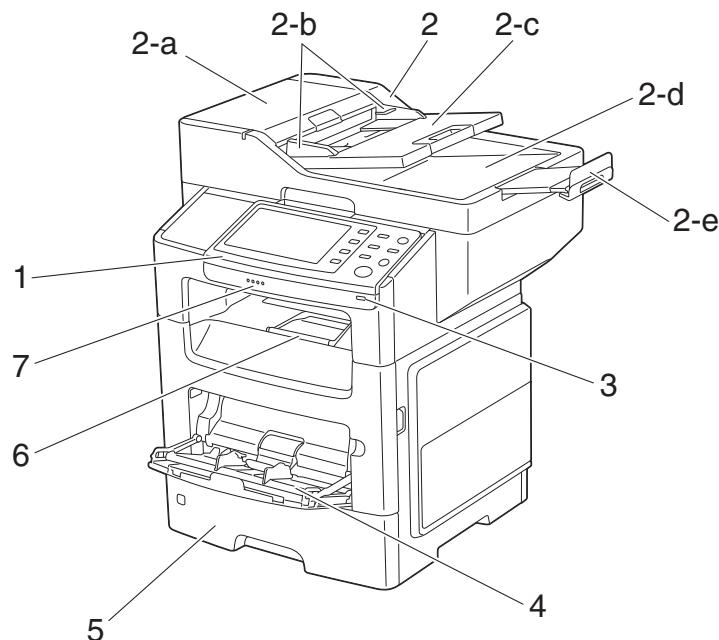
本機の概要

2 本機の概要

2.1 本機について

2.1.1 各部の名前

前面



No.	名称
1	操作パネル
2	自動原稿送り装置 (ADF)
2-a	ADF カバー
2-b	ガイド板
2-c	原稿給紙トレイ
2-d	原稿排紙トレイ
2-e	原稿ストッパー
3	USB ホストポート *
4	手差しトレイ
5	トレイ 1
6	排紙トレイ
7	データランプ

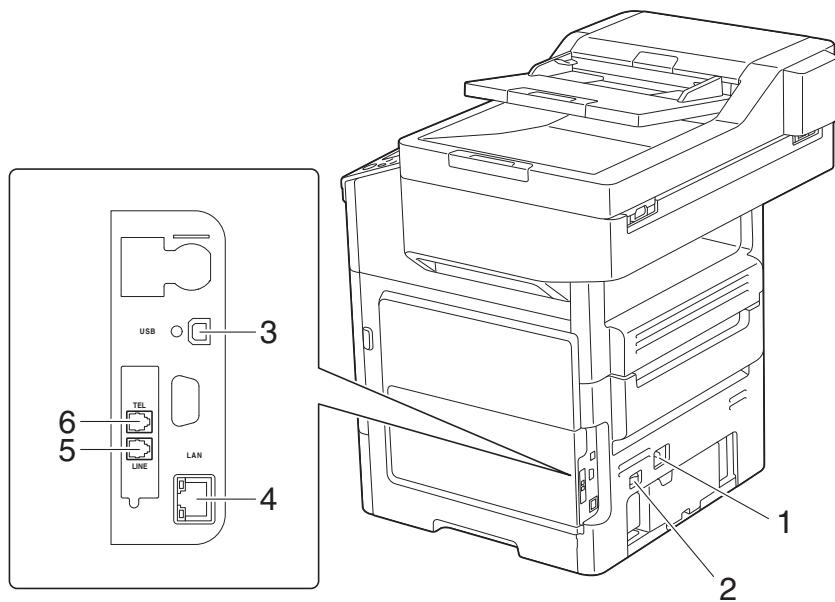
* USB ホストポートには、USB ハブを接続できます。USB ハブには、USB メモリーと認証装置 (IC カードタイプ) を同時に 1 つずつ接続できます。

重要

USB ハブを使用する場合は、セルフパワー方式のハブをお使いください。バスパワー方式のハブを使用すると、予期せぬ動作をするおそれがあります。

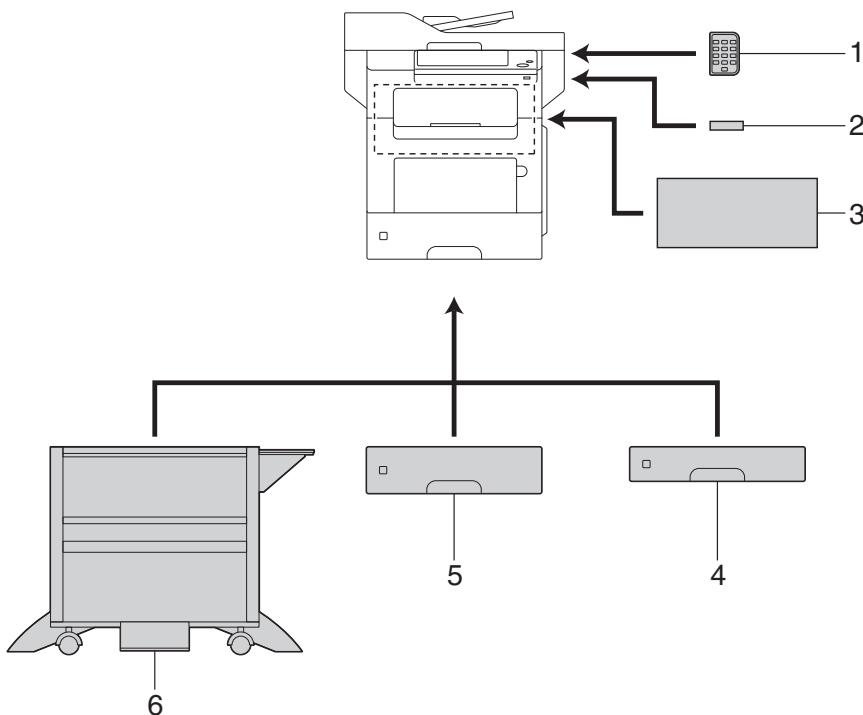
背面

本図は本体にオプションのFAXキットFK-512、取付けキットMK-P03を装着しています。



No.	名称
1	電源インレット
2	電源スイッチ
3	USBプリンターポート（タイプB）
4	Ethernet (LAN) ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)
5	回線コネクター (LINE)
6	外付け電話機接続用コネクター (TEL)

2.1.2 オプションの構成



No.	名前	説明
1	キーパッド KP-P01	操作パネル横に装着します。 ハードウェアのテンキーで数字を入力できます。
2	認証装置 AU-201	ICカードに記録された情報を読み取ってユーザー認証を行うことができます。
3	フィニッシャー FS-P02	印刷した用紙をステープルとじできます。 ステープル針は、ステイプルキット SK-501 を使用します。
4	ペーパーフィーダーユニット PF-P11	250枚までの用紙をセットできます。 ペーパーフィーダーユニットは、3段まで設置できます。
5	ペーパーフィーダーユニット PF-P12	550枚までの用紙をセットできます。 ペーパーフィーダーユニットは、3段まで設置できます。
6	専用デスク DK-P02	本機をフロアに設置できます。

以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。

7	FAXキット FK-512	本機をファクス機として使えます。
8	取付けキット MK-P03	FAXキットを取付ける場合に必要です。
9	ローカル接続キット EK-P04	RS-232Cポートを増設します。
10	i-Option LK-101 v3	拡張機能の一つである、Webブラウザ機能が使えます。
11	i-Option LK-106	特殊フォントの一つである、バーコードフォントを追加できます。
12	i-Option LK-107	特殊フォントの一つである、ユニコードフォントを追加できます。
13	i-Option LK-108	特殊フォントの一つである、OCRフォントを追加できます。
14	i-Option LK-111	拡張機能の一つである、ThinPrint機能が使えます。
15	ネットワークカード NC-P03	無線ネットワーク環境で本機を使用できます。



i-Optionのライセンスキットの登録方法について詳しくは、[ユーザーズガイド 拡張機能編] の2章「ライセンスキットを登録する」をごらんください。

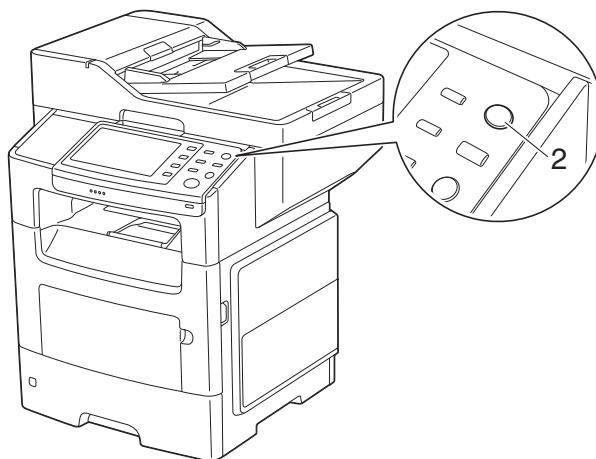
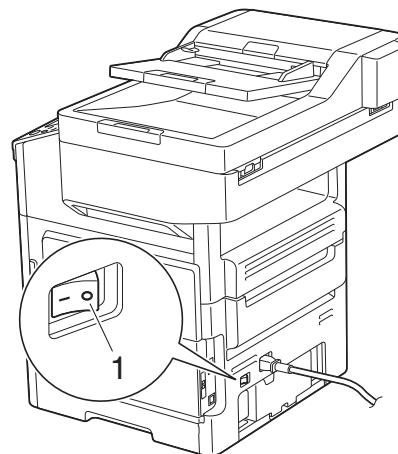
重要

オプションを脱着するときは、本機の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

2.2 電源について

2.2.1 電源スイッチ／電源キーの場所

本機には、本体外部の電源スイッチと操作パネルの電源キーがあります。



No.	名前	説明
1	電源スイッチ	本機の主電源を ON/OFF したり、本機を再起動するときに操作します。
2	電源キー	本機を節電状態に切換えるときに操作します。消費電力を抑え節電効果を得られます。 詳しくは、2-8 ページをごらんください。

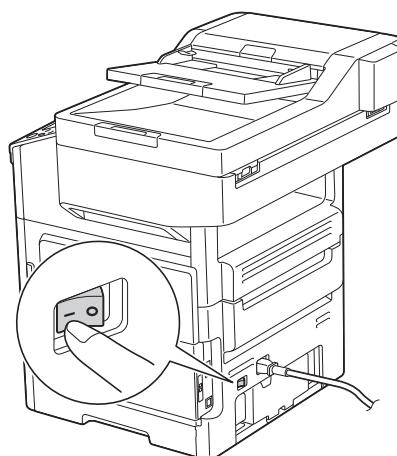
重要

本機で印刷中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押さないでください。紙づまりの原因となります。

本機の動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押したりすると、読み込み中のデータや通信中のデータ、待機中のジョブは削除されます。

2.2.2 電源スイッチを ON/OFF する

- 1 主電源を ON にするときは、電源スイッチの | を押します。



起動中を表す画面が表示されます。

トップメニューのアイコンが表示されたら、本機をお使いいただけます。

- 2 主電源を OFF にするときは、電源スイッチの ○ を押します。

重要

本機を再起動するときは、電源スイッチを OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

2.2.3 電源キーを使う

電源キーは、本機を節電状態に切換えるときに操作します。

電源キーを押したときに移行する節電状態は、[パワーセーブ] または [副電源 OFF] から選ぶことができます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [電源キー設定]（初期値：[パワーセーブ]）

パワーセーブキーとしてお使いの場合

電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。

電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	低電力モード (初期値)	点滅： 青色	タッチパネルの表示を消し、消費電力を抑えます。 タッチパネルを操作したり、データやファックスを受信したりすると、通常モードに復帰します。
	スリープモード	点滅： 青色	低電力モードよりも高い節電効果を得られます。通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 タッチパネルを操作したり、データやファックスを受信したりすると、通常モードに復帰します。
長押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	スリープモードよりも高い節電効果を得られます。 副電源 OFF 状態のとき、データやファックスは受信できますが、原稿の読み込みや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファックスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。



関連設定（管理者向け）

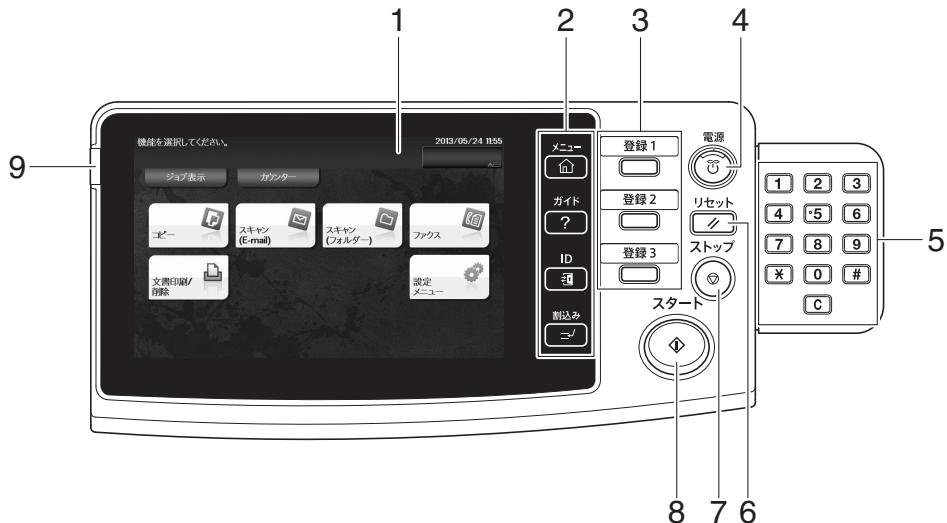
- 電源キーを押したときに、低電力モードとスリープモードのどちらに切換えるかを選べます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [パワーセーブモード節電切替]（初期値：[低電力]）
- 本機がスリープ状態のときに、スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態（ディープスリープ状態）への移行を行うかどうかを選べます。本機がディープスリープ状態のときは、タッチパネルの操作では通常モードに復帰しません。電源キーを押して復帰させてください。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [スリープ中の消費電力]（初期値：[抑制する]）

副電源 OFF キーとしてお使いの場合

電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。

電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	スリープモードよりも高い節電効果を得られます。 副電源 OFF 状態のとき、データやファックスは受信できますが、原稿の読み込みや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファックスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。
長押し	ErP オートパワー OFF	点滅： オレンジ色	副電源 OFF 状態よりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。 ErP オートパワー OFF 状態のとき、データやファックスの受信や、原稿の読み込み、印刷はできません。 ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。

2.3 操作パネルについて


 参考

本図はオプションのキーパッドを装着しています。

No.	名前	説明
1	タッチパネル	設定画面やメッセージを表示します。 直接タッチして操作します。
2	[メニュー]	トップメニューを表示します。トップメニューの表示中は「[メニュー]」が青色に点灯します。 トップメニューについて詳しくは、2-13 ページをごらんください。
	[ガイド]	ヘルプ画面を表示します。ヘルプ画面の表示中は「[ガイド]」が青色に点灯します。 本機の機能の解説や操作方法をタッチパネルに表示して確認できます。
	[ID]	本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ログイン画面で認証を実施します。 ログインした状態で「[ID]」をタップすると、ログアウトします。
	[割込み]	急な用件でコピーしたいときに、本機で現在実行中の動作を中断し、優先してコピーができます。 割込み中は「[割込み]」が青色に点灯します。
3	登録 1 ~ 登録 3	登録キーに割当てられた機能に、タッチパネルの表示を切換えます。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、登録 1 : [スキャン (E-mail)]、登録 2 : [コピー]、登録 3 : [テンキー] が割当てられています。 お使いの環境に合わせて、登録キーに割当てる機能を変更できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド]はじめにお読みください」の7章「操作パネルについて」をごらんください。
4	電源キー	本機を節電状態に切換えるときに操作します。 詳しくは、2-8 ページをごらんください。
5	テンキー	部数や倍率など、数値を入力します。また、番号の付いた設定キーの選択にも使えます。
	C (クリア)	テンキーで入力した数値（部数、倍率、サイズなど）をすべて取消します。
6	リセット	操作パネルで入力／変更した内容を初期状態に戻します。
7	ストップ	コピー、スキャン、印刷中の動作を一時停止します。 再開するときは「スタート」を押します。

No.	名前	説明
8	スタート	<p>コピー、スキャン、ファクス、印刷などの動作を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">青色に点灯：本機が動作を開始できる状態オレンジ色に点灯：本機が動作を開始できない状態 <p>【ひとこと】 オレンジ色に点灯しているときは、タッチパネルに警告やメッセージが表示されていないか確認してください。</p>
9	警告表示ランプ	本機の状態をランプの色と点滅、点灯で表示します。 <ul style="list-style-type: none">オレンジ色に点滅：警告中オレンジ色に点灯：機械停止中

2.4 タッチパネルの操作

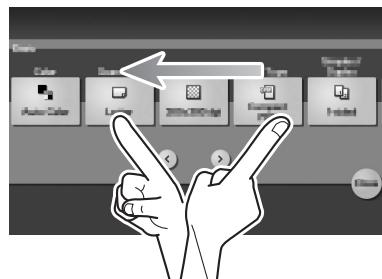
タップ

画面を指で軽くタッチし、すぐに離します。メニューを選んだり、確定したりします。



フリック

画面上で指を滑らせ、軽くはらいます。



テンキーの表示

画面上の数字または入力エリアをタップするとテンキーを表示します。

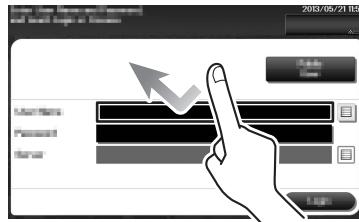
数字を入力するときに使います。



入力／選択画面の切換え操作

入力エリアまたはアイコンをタップして、入力／選択画面に切換えます。

文字入力や登録内容の選択画面に切換えるときに使います。



タッチパネル使用上のご注意

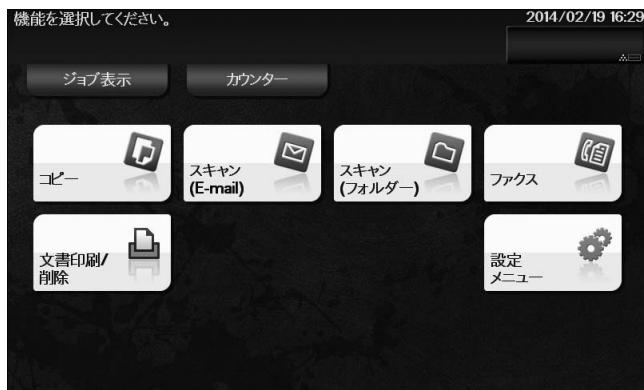
本機は静電容量方式タッチパネルを採用しております。タッチパネルを操作するときは、次の点にご注意ください。

- 指またはスタイルスペンをご使用ください。指やスタイルスペンを使用せず、爪やペン先などで操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないのでご注意ください。
- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷がついて破損の原因となります。
- タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。
- 濡れた指でタッチパネルの操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないことがありますのでご注意ください。
- 手袋を着用したままでタッチパネルの操作を行った場合、タッチパネルが正常に反応しないので、指またはスタイルスペンでの操作をお勧めします。
- タッチパネルの操作を行うとき、人と蛍光灯との距離が 50 cm 以下の場合、タッチパネルが正常に反応しないことがありますのでご注意ください。
- 電気的ノイズの発生する機器（発電機、エアコン等）のそばでのご使用は避けてください。電気的ノイズの影響により、誤動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

2.5 トップメニューについて

操作パネルの【メニュー】をタップすると、トップメニューを表示します。

トップメニューは、本機の操作の基点となる画面です。トップメニューから、各機能モードへの切換えを行います。



項目	説明
[ジョブ表示]	実行中ジョブ／ジョブ履歴の確認ができます。必要に応じて、待機中のジョブを削除したりなど、ジョブの操作ができます。 ひとこと ジョブとは、印刷、送信、受信、保存などの個々の動作単位です。
[カウンター]	本機で印刷したページ数の累計を機能別に集計した情報を表示します。本機の利用状況の把握にお役立てください。
[コピー]	コピーモードのトップ画面を表示します。 コピーモードについて詳しくは、5-17 ページをごらんください。
[スキャン (E-mail)]	E-mail 送信モードのトップ画面を表示します。 E-mail 送信モードについて詳しくは、5-10 ページをごらんください。
[スキャン (フォルダー)]	ファイル送信モードのトップ画面を表示します。 ファイル送信モードについて詳しくは、5-10 ページをごらんください。
[ファックス]	ファックスモードのトップ画面を表示します。 ファックス送信モードについて詳しくは、5-13 ページをごらんください。
[文書印刷 / 削除]	本機のHDDに保存されているファイルや、本機に接続したUSBメモリー内のファイルの操作ができます。 USB内のファイルの印刷方法について詳しくは、5-20 ページをごらんください。
[設定メニュー]	本機の各種設定や宛先の登録、消耗品の状態の確認などができます。 設定メニューの内容について詳しくは、[ユーザーズガイド 設定キーの説明]をごらんください。
[APP]	本機にOpenAPI対応アプリケーションを登録している場合に表示されます。
[Web ブラウザー]	Webブラウザーのトップ画面を表示します。 オプションのi-Option LK-101 v3を導入し、Webブラウザー機能が有効の場合に利用できます。 Webブラウザー機能について詳しくは、[ユーザーズガイド 拡張機能編]をごらんください。
[簡単セキュリティ]	[簡単セキュリティ設定]を表示します。 [簡単セキュリティ設定]のショートカットキーをトップメニューに表示するように設定している場合に利用できます。 設定内容について詳しくは、[ユーザーズガイド 設定キーの説明]の5章「管理者設定」の[簡単セキュリティ設定]の説明をごらんください。



関連設定（管理者向け）

- トップメニューにプログラムのショートカットキーを配置できます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [標準トップメニュー設定]
- [簡単セキュリティ] は初期状態でトップメニューに表示されます。ただし、[簡単セキュリティ設定] 画面で [管理者パスワード] を初期値から変更し、かつ [パスワード規約] を [ON] に設定すると、トップメニューに [簡単セキュリティ] が表示されなくなります。再表示したい場合は、次の場所で設定できます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [標準トップメニュー設定]

2.6 文字入力のしかた

宛先登録や、プログラムの登録など、文字の入力が必要なときは、タッチパネルに表示されるキーボード画面を使います。



項目	説明
キーボード	入力する文字のキーをタップします。
[クリア]	入力した文字や値を削除します。
[←] / [→]	カーソルを動かします。
[×]	入力した文字を1文字ずつ削除します。
[英 / 数]	英数字を入力するときにタップします。 ・ 全角の英数字を入力するときは「全角」をタップします。 ・ 大文字、記号を入力するときは「Shift」をタップします。
[ひらがな]	ひらがなや漢字を入力するときにタップします。 ・ 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは「他かな」をタップします。 ・ 漢字に変換するときは「変換」をタップして、表示された候補から漢字を選びます。 ・ 漢字に変換しないときは、「無変換」をタップして文字を確定します。
[カタカナ]	カタカナを入力するときにタップします。 ・ 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは「他かな」をタップします。
[文字コード]	16進数(1~0、A~Fの組合せ)の文字コードで、文字や記号を入力するときにタップします。
[中止]	入力を中止し、前の画面に戻ります。 入力した文字や値は削除されます。
[OK]	入力した文字や値を確定します。

3

用紙のセット方法

3 用紙のセット方法

3.1 用紙について

3.1.1 対応する用紙の種類を確認する

用紙種類	用紙坪量	用紙容量
普通紙 再生紙 片面専用用紙 ^{*1} 特殊紙 ^{*2} 色紙 ^{*4} ユーザー紙 1 ^{*5} ユーザー紙 2 ^{*5}	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	手差しトレイ：100 枚 トレイ 1：550 枚 ^{*6}
レターヘッド紙 ^{*3}	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	手差しトレイ：100 枚 トレイ 1：550 枚
厚紙 1 ユーザー紙 3 ^{*5}	91 g/m ² ~ 120 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：550 枚 ^{*6}
厚紙 1+ ユーザー紙 4 ^{*5}	121 g/m ² ~ 157 g/m ²	手差しトレイ：20 枚
厚紙 2 ユーザー紙 5 ^{*5}	158 g/m ² ~ 163 g/m ²	手差しトレイ：20 枚
4 × 6 Postcard ^{*7}	—	手差しトレイ：20 枚
封筒	—	手差しトレイ：10 枚
ラベル用紙	—	手差しトレイ：30 枚 トレイ 1：550 枚 ^{*6}

^{*1} 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）。

^{*2} 上質紙などの特別な用紙。

^{*3} あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

^{*4} カラーペーパーなど色が付いた用紙。

^{*5} よく使う用紙種類として本機に登録されている用紙。

^{*6} 用紙坪量が 75 g/m² の場合の目安容量。

^{*7} 一般的な Postcard の用紙。

重要

普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに専用紙をセットした場合、用紙の種類を正しく設定してください。正しく設定しないと、紙づまりや画像不良の原因となります。

3.1.2 対応する用紙サイズを確認する

給紙口	通紙可能サイズ
手差しトレイ	A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 リーガル (8-1/2 × 14)、レター (8-1/2 × 11)、SP Folio (8-1/2 × 12-11/16)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、Statement/Invoice (5-1/2 × 8-1/2) Foolscap (8 × 13)、8-1/8 × 13-1/4、Folio (8-1/4 × 13)、F4:Folio、 G. リーガル (8-1/2 × 13)、8-1/2 × 13-1/2、16K、Kai 16、Kai 32 Photo size 10 × 15 (100 × 150 mm) 封筒 #10、洋形 6 号、封筒 DL、封筒 C6、長形 3 号、長形 4 号 B5 (ISO)、UK Quarto (8 × 10)、G. レター (8 × 10-1/2) 幅: 76.2 mm ~ 215.9 mm、長さ: 127 mm ~ 355.6 mm
トレイ 1	A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 リーガル (8-1/2 × 14)、レター (8-1/2 × 11)、SP Folio (8-1/2 × 12-11/16)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、Statement/Invoice (5-1/2 × 8-1/2) Foolscap (8 × 13)、8-1/8 × 13-1/4、Folio (8-1/4 × 13)、F4:Folio、 G. リーガル (8-1/2 × 13)、8-1/2 × 13-1/2 G. レター (8 × 10-1/2)



参考

- すべての用紙サイズで、プリント時は用紙の端から 4.2 mm ± 2 mm、コピー時は用紙の端から 4 mm ± 2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。
- 封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。
- ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためにには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

3.1.3 使用上のご注意

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙
- 表と裏で紙質（粗さ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

用紙の保管のしかた

用紙を保管するときは、以下の点にご注意ください。

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下ののような場所・環境に置かないでください。
 - 湿気が多い場所
 - 直射日光があたる場所
 - 高温の場所（35 °C以上の場所）
 - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。



参考

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

3.2 手差しトレイにセットする

他の給紙トレイにセットされていないサイズの用紙に印刷したいときに、手差しトレイを使います。

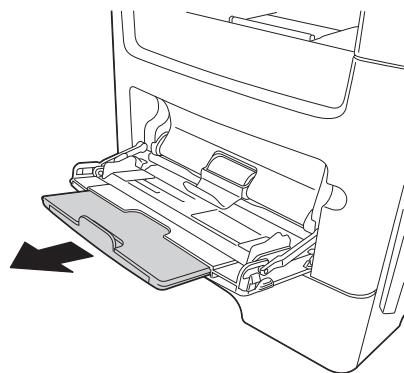
手差しトレイを使う場合は、用紙のセットと、用紙サイズおよび用紙種類の設定が必要です。

- ✓ 対応する用紙の種類について詳しくは、3-2 ページをごらんください。
- ✓ 対応する用紙のサイズについて詳しくは、3-3 ページをごらんください。

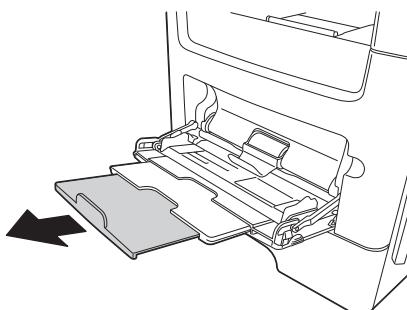
1 手差しトレイを開きます。



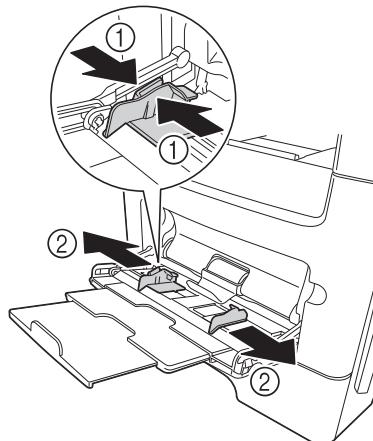
2 手差しトレイの延長ガイドを引出します。



3 手差しトレイの延長ガイドをいっぱいまで引出します。

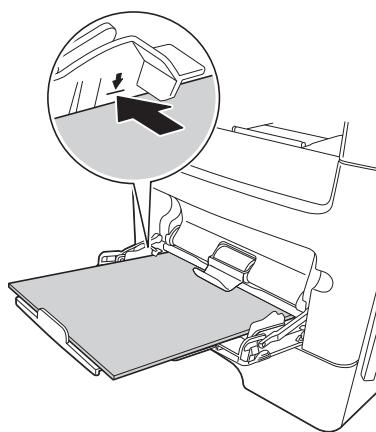


- 4 左端の用紙ガイドタブをつまんで、セットする用紙の幅に合わせて用紙ガイドを移動します。



- 5 印刷したい面を上向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

→ 用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。



重要

用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。

- 6 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

- 7 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。また、不定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズも指定します。

→ 設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [用紙設定] - [給紙トレイ] - [手差し]

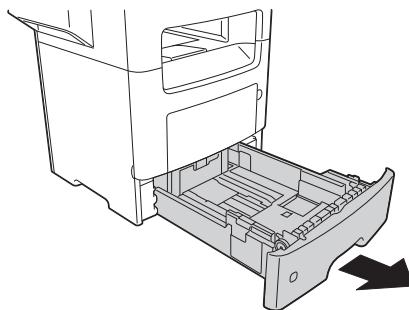
3.3 トレイ 1 にセットする

重要

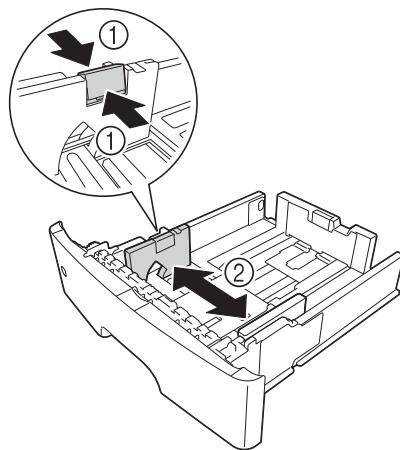
機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

- ✓ 対応する用紙の種類とサイズについて詳しくは、3-2 ページをごらんください。
- ✓ トレイ 2/3/4 は、オプションのペーパーフィーダーユニットを装着している場合に利用できます。トレイ 2/3/4 への用紙のセット方法は、トレイ 1 と同じです。

- 1 トレイ 1 を完全に引出します。

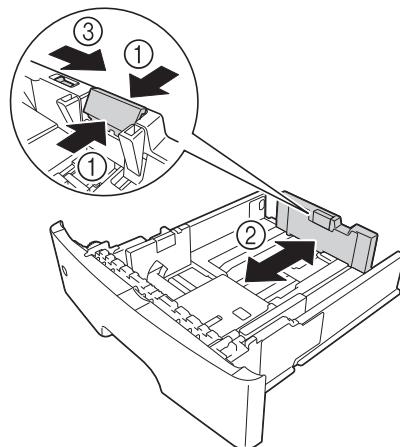


- 2 横の用紙ガイドタブをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせて用紙ガイドを移動します。



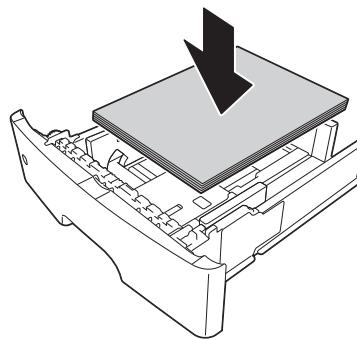
- 3 縦の用紙ガイドタブをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせて用紙ガイドを移動します。

→ 用紙ガイドを移動したら、ロックつまみ (3) をスライドさせて用紙ガイドをロックしてください。ロックされているかどうかは施錠／解錠マークで確認できます。



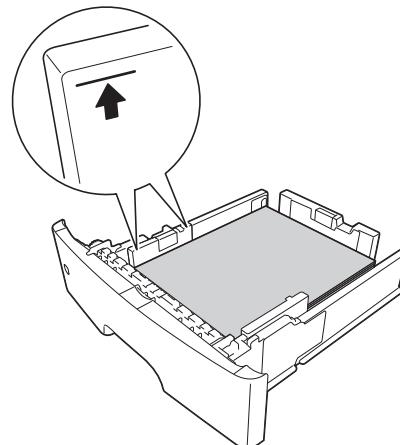
4 印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

- 用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。
- A4、レターサイズ、またはリーガルサイズなどの長い用紙をセットするときは、縦の用紙ガイドタブをつまんで、用紙の長さに合った位置まで後方へスライドさせます。
- リーガルサイズの用紙をセットすると、縦の用紙ガイドタブがトレイのベースからはみ出るため、用紙にホコリがかかることがあります。ダストカバーを購入して装着すると用紙をホコリから保護できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- A6 サイズの用紙をセットするときは、縦の用紙ガイドタブをつまんで、トレイの中央にある A6 サイズの位置までスライドさせます。
- 横の用紙ガイドおよび縦の用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と一致していることを確認してください。



重要

用紙は上限マークを超えないようにセットしてください。



5 用紙サイズに用紙ガイドを合わせます。

6 トレイ 1 を閉じます。

7 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。

- 設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [用紙設定] - [給紙トレイ] - [トレイ 1]

4

本機の初期設定

4 本機の初期設定

4.1 ネットワーク接続の準備（管理者向け）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、ネットワークに接続された LAN ケーブルが接続されていることを確認します。ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。

IP アドレスを割当てる

本機に固定の IP アドレスを用意している場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスを、手動で入力します。

操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[IP アドレス]	IP アドレスを手動設定する場合に、本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	IP アドレスを手動設定する場合に、サブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	IP アドレスを手動設定する場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。
[IP 確定方法自動設定]	IP アドレスを自動設定する場合に、自動取得の方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">【DHCP 設定】：初期値は【ON】です。【BOOTP 設定】：初期値は【OFF】です。【ARP/PING 設定】：初期値は【OFF】です。【AUTO IP 設定】：【有効】固定です。



参考

本機に割当てられた IP アドレスを確認するときは、設定情報リストを印刷します。設定情報リストは、[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [レポート出力] - [設定情報リスト] から印刷できます。

4.2 ファクスの準備（管理者向け）



ファクス機能を使うには、オプションの FAX キット FK-512、取付けキット MK-P03 が必要です。

モジュラーケーブルの接続を確認する

本機の LINE ポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。

お使いの電話回線の種類を指定する

本機を接続する電話回線の種類（ダイアル方式）を指定します。ダイアル方式が誤っていると通信できないため、正しく設定する必要があります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [ダイアル方式]

構内回線（PBX）環境で使うための準備をする

構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [PBX 接続設定]

ファクスの受信方法を選ぶ

ファクスの受信方法には、本機が自動で受信する方法や、ユーザーが手動で受信する方法などがあります。お使いの環境に合わせて、受信方法を設定します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式]

発信元情報を登録する

本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。

登録した情報は、送信するファクスに付加され、送信先で印刷されたファクスに発信元記録として印字されます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / ファクス ID 登録]

本機の日時を設定する

送受信するファクスに日時を付加するため、本機の日時を設定します。設定した日時は、時刻を指定して通信するタイマー通信の基準時刻になります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]

4.3 セキュリティの設定（管理者向け）

4.3.1 ハードディスク（HDD）の設定

本機のHDDに保存されるデータを暗号化して保護したい場合は、HDDの暗号化の設定を行います。

HDDの暗号化の設定を行うとHDDのフォーマットが行われるため、HDD内に保存されているデータが消去されます。そのため、本機をお使いになる前に、HDDの暗号化の設定を済ませておくことをおすすめします。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [HDD管理設定] - [HDD暗号化設定]



関連設定（管理者向け）

セキュリティ強化モードを有効にして本機を使用する場合は、HDDの暗号化の設定を行う必要があります。セキュリティ強化モードについて詳しくは、[ユーザーズガイド 設定キーの説明] の5章「管理者設定」の「セキュリティ強化設定」の説明をごらんください。

4.3.2 [簡単セキュリティ設定] の設定

[簡単セキュリティ設定]には、本機のセキュリティ強度を高めるための設定がまとめられています。

本機をより安全にお使いいただくために、あらかじめパスワード規約の条件を満たした管理者パスワードへの変更と[簡単セキュリティ設定]の設定をすることをおすすめします。初期状態では、管理者パスワードが初期値から変更されていないときや、パスワード規約条件を満たしていないときは、セキュリティ警告画面が表示されます。

トップメニューで[簡単セキュリティ]をタップすると、[簡単セキュリティ設定]の設定画面が表示されます。設定内容について詳しくは、[ユーザーズガイド 設定キーの説明] の5章「管理者設定」の「簡単セキュリティ設定」の説明をごらんください。



関連設定（管理者向け）

[簡単セキュリティ]は初期状態でトップメニューに表示されます。ただし、[簡単セキュリティ設定]画面で[管理者パスワード]を初期値から変更し、かつ[パスワード規約]を[ON]に設定すると、トップメニューに[簡単セキュリティ]が表示されなくなります。再表示したい場合は、次の場所で設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [標準トップメニュー設定]

5

基本的な使い方

5 基本的な使い方

5.1 プリント機能を使う (Windows 環境の場合)

本書では、Windows 環境で印刷するための設定方法を説明します。



Mac OS 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 3 章「Mac OS 環境で印刷する」をごらんください。

Linux 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 5 章「Linux 環境で印刷する」をごらんください。

5.1.1 プリンタードライバーについて

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
XPS ドライバー	XPS	Windows Vista 以降に登場した XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。

5.1.2 印刷の準備 (ネットワーク接続)

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。

ネットワーク設定を確認する

設定情報リストを印刷し、本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。

設定情報リストは、[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [プリンター設定] - [レポート出力] - [設定情報リスト] から印刷します。



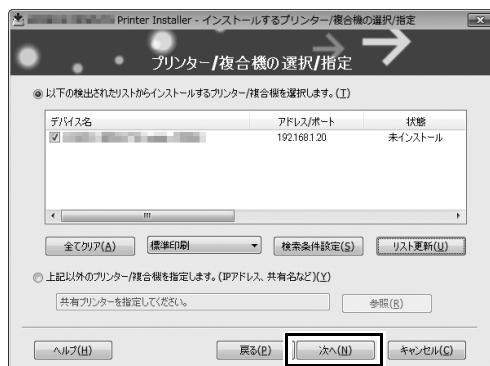
IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、4-2 ページをごらんください。

プリンタードライバーをインストールする

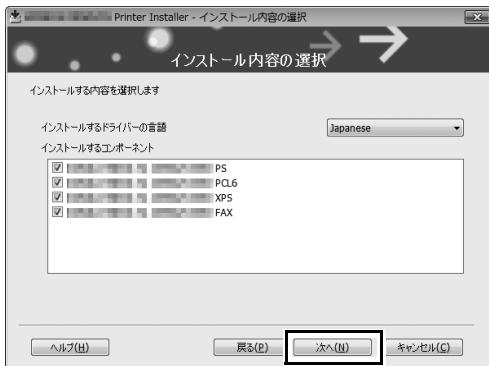
インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は **Driver & Utilities CD-ROM** を使用します。

- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [プリンター／ファクス] をクリックします。
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 4 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
 - Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[IPv4 優先] / [IPv6 優先] を選べます。IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。
- 6 本機を選び、[次へ] をクリックします。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 印刷方法は、管理者から特に指定がない場合は、[標準印刷] (Port 9100) から変更する必要はありません。本書では、[標準印刷] (Port 9100) の設定方法を説明します。
 - 印刷方法は、[標準印刷] のほか、[インターネット印刷] (IPP) や [セキュリティ印刷] (IPPS) を選べます。印刷方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 2 章「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します。 (IP アドレス、共有名など)] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 7 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 → 各プリンタードライバーの特長については、5-2 ページをごらんください。



- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
 以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。
 詳しくは、5-8 ページをごらんください。

5.1.3 印刷の準備 (USB 接続)

インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2)

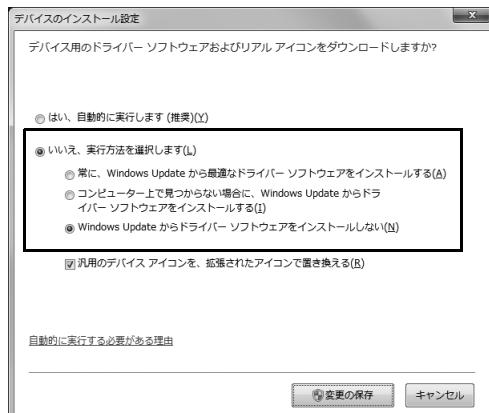
Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューターの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [↓] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
 - プリンタードライバーのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



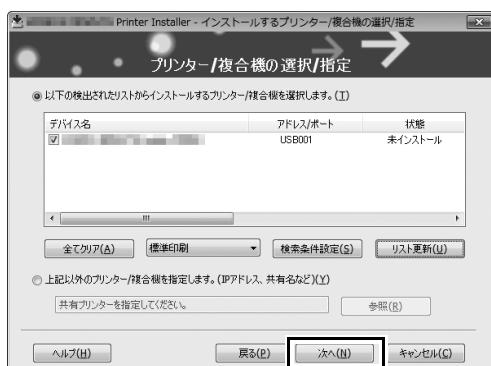
- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は **Driver & Utilities CD-ROM** を使います。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
 - ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。
 - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [プリンター／ファクス] をクリックします。
- 4 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 5 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 6 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
USB 接続されているプリンターが検出されます。
- 7 本機を選び、[次へ] をクリックします。



- 8 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 - 各プリンタードライバーの特長については、5-2 ページをごらんください。



- 9 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

10 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、5-8 ページをごらんください。

5.1.4 プリンタードライバーの初期設定

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

- Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [④] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] - [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
- Windows Server 2003 の場合は、スタートメニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

2 プリンターのプロパティを開きます。

- Windows 8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンター名をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。
- [プロパティ] 画面が表示されます。

3 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。

- 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、[装置オプション] に反映されます。
- [取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報を取得して [装置オプション] に反映します。
- 本機と通信できない場合や、Windows Server 2003 環境で USB 接続してお使いの場合は、[装置オプション] から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。



4 [OK] をクリックします。

5.1.5 印刷のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態 (初期値) に戻ります。
→ プリンタードライバーの印刷設定について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の2章 「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
- 5 [印刷] をクリックします。
印刷が実行されます。

5.2 スキャン送信機能を使う

5.2.1 スキャン送信機能でできること

本機で読込んだ原稿データは、コンピューターやサーバーへ送信したり、本機のHDDに保存したりできます。

スキャン送信機能には、次の種類があります。

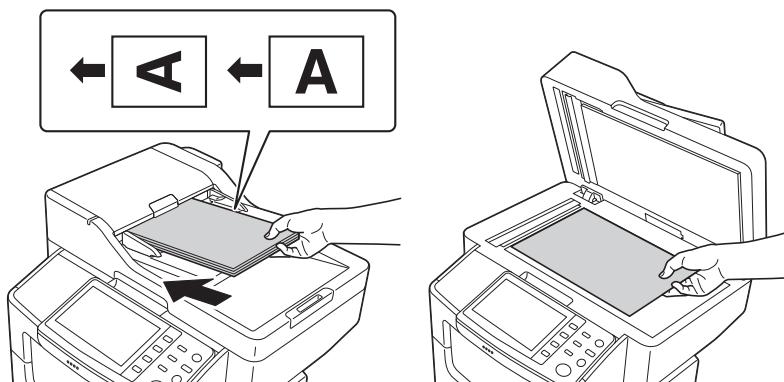
機能	説明
E-mail 送信	変換したファイルをE-mailに添付して、任意のメールアドレスに送信します。
SMB 送信	変換したファイルをコンピューターの共有フォルダーへ送信します。送信先を自分のコンピューターやファイルサーバーなどにして使います。
FTP 送信	変換したファイルをFTPサーバーへ送信します。FTPサーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。
WebDAV 送信	変換したファイルをWebDAVサーバーへ送信します。WebDAVサーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。
HDD 保存	本機で読込んだ原稿データを本機内蔵のHDDに保存します。HDDに保存した原稿データは、コンピューターでWebブラウザーを使ってダウンロードできます。
USB メモリー保存	本機で読込んだ原稿データを本機に接続したUSBメモリーに保存します。
WS スキャン	面倒な環境設定をすることなく、コンピューターからスキャンの指示をして原稿データを取込んだり、本機でスキャンした原稿データをコンピューターに送信したりできます。Vista以降のWindowsコンピューターで対応しています。
TWAIN/WIA スキャン	ネットワーク上のコンピューターから、TWAIN/WIAに対応した各種アプリケーションを通じて、本機で読込んだ原稿データをファイルに変換して取込めます。



スキャン送信機能を使うには、あらかじめ設定が必要な場合があります。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編]をごらんください。

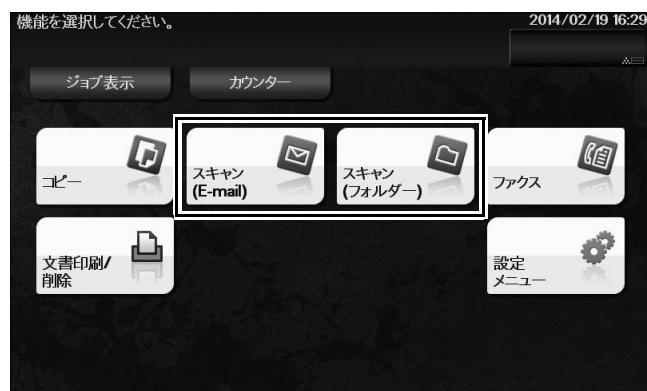
5.2.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 目的の機能のキーをタップします。

- E-mail 送信を行う場合は、[スキャン (E-mail)] をタップします。
- SMB 送信、FTP 送信、WebDAV 送信、HDD 保存、USB メモリー保存、WS スキャンを行う場合は、[スキャン (フォルダー)] をタップします。



- 3宛先を指定します。

- あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、5-22 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することもできます。



4 [応用設定] をタップし、スキャン送信のオプション設定をします。



- 本機で原稿を読み込む前に、読み込む原稿のサイズを設定する必要があります。原稿を読み込む前に、[応用設定] - [基本] - [読みみサイズ] で原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。

5 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に [設定確認] をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。
- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止します。原稿の読み込みを中止したいときは、ジョブ画面から停止中のジョブを削除します。



送信が開始されます。

5.3 ファクス機能を使う

5.3.1 ファクス機能について

ファクスは、電話回線を使って、読み込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読み込みの設定を変更したり、受信したファクスをメモリーに保存したりすることができます。

ファクス使用時の注意は以下のとおりです。

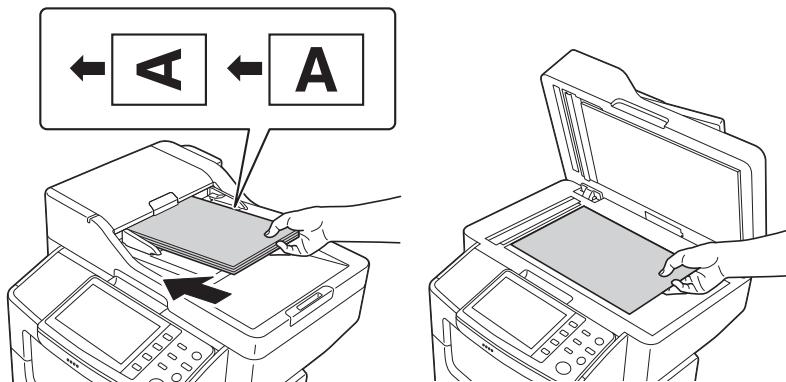
- ファクス機能を利用するには、オプションの FAX キット FK-512、取付けキット MK-P03 が必要です。
- 本機を接続できる電話回線は以下のとおりです。
 - 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
 - PBX（構内交換機 2 線式）
- カラーでのファクス通信はできません。
- 外部電話としてビジネスホンは接続できません。
- キヤッチャホンは併用できません。
- お客様がお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、スーパー G3 による通信ができなくなる可能性があります。
- ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。



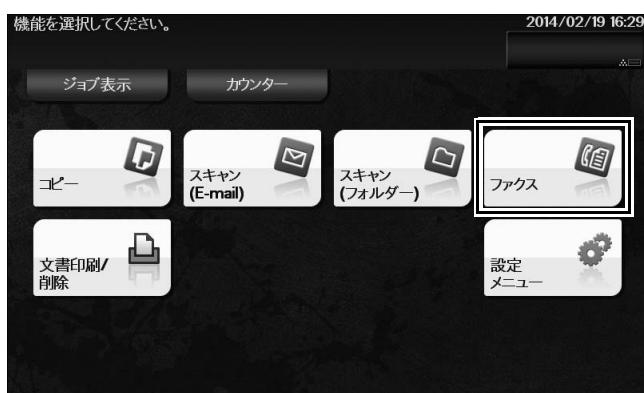
ファクス機能を使用するには、あらかじめ本機で使用環境の設定が必要です。詳しくは、4-3 ページをごらんください。

5.3.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 [ファクス] をタップします。



- 3 ファクス番号を指定します。

- あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、5-22 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、ファクスの同報送信ができます。



4 [応用設定] をタップし、ファクス送信のオプション設定をします。



- 本機で原稿を読み込む前に、読み込む原稿のサイズを設定する必要があります。原稿を読み込む前に、[応用設定] - [基本] - [読み込みサイズ] で原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。

5 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に [設定確認] をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。
- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止します。原稿の読み込みを中止したいときは、ジョブ画面から停止中のジョブを削除します。



送信が開始されます。

5.3.3 ファクス送信機能の紹介

ここでは、便利なファクス送信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] の 4 章「こんな送信のしかたがあります」をごらんください。

機能	概要
タイマー通信	通信を開始する時刻を設定しておくと、指定した時刻に自動的に通信を開始する機能です。
宛先確認送信	ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報 (CSI) とを照合し、一致した場合にファクスを送信する機能です。
Fコード送信	Fコード (SUB アドレス、送信 ID) を指定して送信する機能です。親展通信と中継配信依頼ができます。 <ul style="list-style-type: none"> 親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。 中継配信依頼は、1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。
クイックメモリー送信	原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を開始する機能です。発信元記録に総ページ数を入れることもできます。
パスワード送信	パスワードをつけてファクスを送信する機能です。パスワードでファクスの通信相手を制限している（閉域受信機能を設定している）装置に送る場合に使います。
ポーリング送信	受信側からの受信指示（ポーリング指示）で送信するファイルを、あらかじめ内蔵ハードディスクに蓄積（登録）しておく機能です。

5.3.4 ファクス受信機能の紹介

ここでは、便利なファクス受信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] の 6 章「こんな受信のしかたがあります」をごらんください。

機能	概要
メモリー代行受信	用紙つまりや消耗品ぎれなどで、受信したファクスを印刷できないときに、本機が印刷できる状態になるまでファクスをメモリーに保存する機能です。
TSI 受信振分け	送信元のファクス番号 (TSI) をもとに、受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先 (SMB/FTP/E-mail (インターネットファクス) 宛先) へ自動転送する機能です。
転送ファクス	受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先（ファクス宛先、E-mail 宛先、インターネットファクス宛先）へ転送する機能です。
強制メモリー受信	受信したファクスを印刷せずに本機のメモリーに保存する機能です。受信したファクスの内容を確認して、必要なものだけを印刷できます。
親展受信	登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。
閉域受信	パスワードでファクスの通信相手を制限する機能です。
ポーリング受信	送信元でポーリング用に登録されているファイルを、本機から指示して受信する機能です。
PC-FAX 受信	受信したファクスをメモリーに保存する機能です。保存されたファクスは、印刷やダウンロードができます。
夜間受信	あらかじめ設定した夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止する機能です。

5.3.5 インターネットファクス機能の紹介

インターネットファクスは、企業内ネットワークやインターネットを通じて送受信するファクスです。

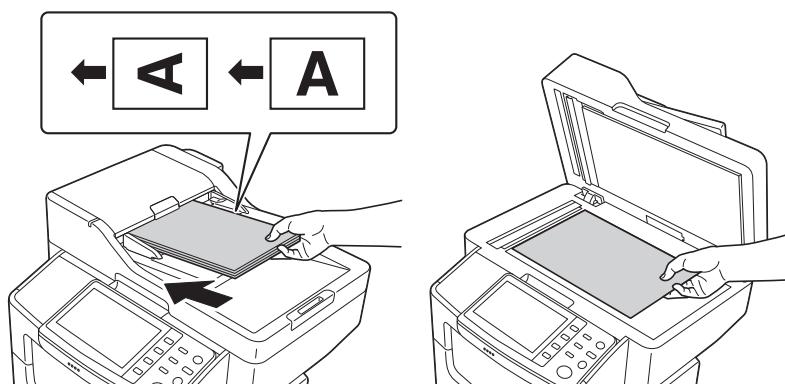
コンピューターと同じネットワークを利用するので、遠隔地へ送信するときや、原稿の枚数が多いときでも、通信費を気にせず送受信できます。

インターネットファクス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークファクス機能編] をごらんください。

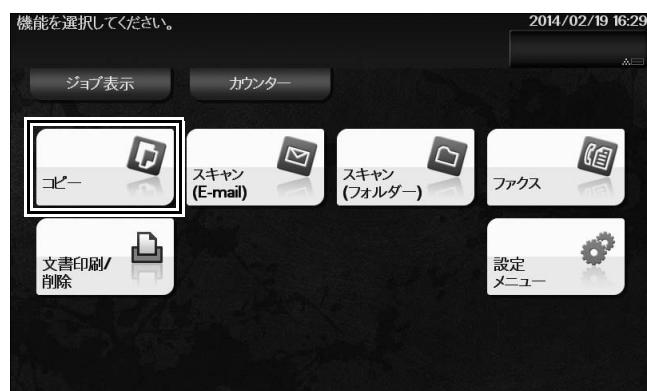
5.4 コピー機能を使う

5.4.1 コピーのしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 [コピー] をタップします。



- 3 必要に応じて、コピーの各種設定をします。

- 本機で原稿を読み込む前に、読み込む原稿のサイズを設定する必要があります。原稿を読み込む前に、[原稿サイズ] で原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。
- コピーの各種設定について詳しくは、5-19 ページをごらんください。
- 設定を変更すると、[出力] の画像に反映されるため、出力イメージを確認しながら設定できます。



4 必要に応じて、テンキーで部数を指定します。

- [部数] をタップするとテンキーが表示されます。
- 登録キーに [テンキー] が割当てられている場合は、登録キーを押すとタッチパネルにテンキーを表示して入力できます。
- 部数の入力をやり直したいときは、[C] をタップします。



5 スタートを押します。

- 必要に応じて、コピーを開始する前に [設定確認] をタップし、設定内容を確認します。
- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止します。原稿の読み込みを中止したいときは、ジョブ画面から停止中のジョブを削除します。



原稿が読み込まれ、コピーが開始されます。

5.4.2 コピー機能の紹介

ここでは、便利なコピー機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をご覧ください。

機能	概要
[割込み]	急な用件でコピーをしたいときは、他の原稿の印刷中でも処理を一時的に中断させて、割込んでコピーできます。
[確認コピー]	先に1部だけコピーして仕上りを確認してからコピーできます。 大量の部数をコピーするときは、確認コピー機能を使うことで、大量のミスコピーを未然に防ぐことができます。
[ID コピー]	保険証、免許証、名刺などの各種カードをコピーするとき、簡単な操作で、1枚の用紙の同じ面にカードの表裏を並べてコピーできます。用紙の使用量の節約にもなります。
[濃度]	コピー画像の濃淡を調整します。
[原稿画質]	原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質でコピーします。
[原稿サイズ]	読み込む原稿のサイズを選びます。
[用紙]	用紙のサイズと種類を選んでコピーします。また、各給紙トレイにセットされている用紙のサイズや種類の設定を変更することもできます。
[倍率]	原稿画像を任意の倍率で拡大または縮小してコピーします。
[両面 / ページ集約]	原稿を用紙の両面にコピーします。また、複数のページを1枚の用紙の同じ面に縮小してコピーします。
[仕上り]	複数の部数をコピーするときに、排紙する順番をソートにするかグループにするかを選びます。 オプションのフィニッシャーを装着している場合は、印刷した用紙をステープルでとじることができます。
[連続読み込み]	原稿の枚数が多く、1度のセットでADFに載せきれない場合でも、原稿を数回に分けて読み込んで、1つのジョブとして扱えます。
[下地調整]	新聞紙や再生紙でできた原稿など、下地に色が付いている原稿の下地の濃度を調整します。
[画質調整]	原稿の画質を調整してコピーします。
[とじしろ]	コピーした用紙をとじるためのとじしろ（余白）を作りたい場合に、とじしろ量を調整します。
[枠消し]	原稿の周囲4辺を同じ幅で消去します。辺ごとに消去する幅を設定することができます。
[日付 / 時刻]	日付や時刻を追加してコピーします。
[ページ番号]	ページ番号を追加してコピーします。
[スタンプ]	「回覧」や「複製厳禁」などの文字を追加してコピーします。
[ウォーターマーク]	ページの中央に「コピー」や「社外秘」などの文字を淡い色で追加してコピーします。
[部数管理番号]	複数の部数を印刷するときに、部数番号を追加してコピーします。

5.5 USB メモリー内のファイルを印刷する

対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

項目	仕様
対応メディア	USB メモリー (USB2.0 対応)
ファイルシステム	FAT32
ファイル形式	PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML (.docx/.xlsx/.pptx)、PPML (.ppml/.vdx/.zip)



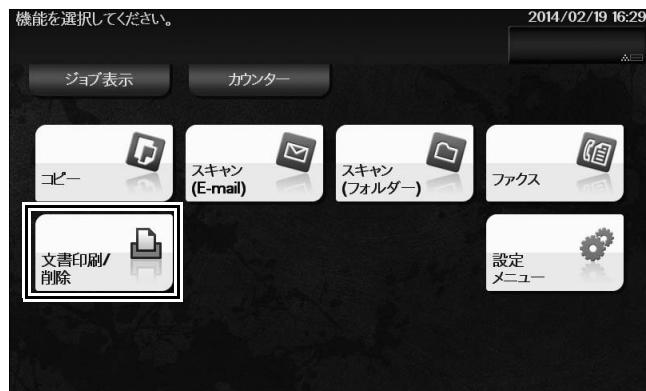
参考

本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

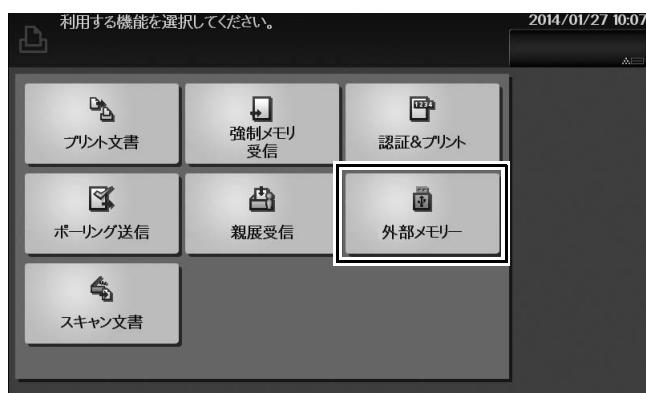
- 操作パネル近くの前面にある USB コネクターを使用してください。
- USB メモリーへの保存中や USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー、USB ハブ以外の USB 機器（ハードディスクなど）は使用しないでください。
- 本機が起動中で、操作パネルに砂時計の表示が出ているときに USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。
- USB メモリーを装着しているときは、操作パネルの角度を変えないでください。USB メモリーの大きさやかたちによっては、操作パネルと接触し、USB メモリーが破損するおそれがあります。

印刷のしかた

- 1 本機に USB メモリーを接続します。
- 2 [文書印刷 / 削除] をタップします。



- 3 [外部メモリー] をタップします。



- 4 印刷したいファイルを選び、[印刷] をタップします。
 - [上へ] をタップすると、上の階層へ移動します。
 - [開く] をタップすると、フォルダーを開き、下の階層へ移動します。
- 5 必要に応じて、印刷設定を変更し、[印刷実行] をタップします。

設定	説明
[用紙サイズ]	印刷する用紙のサイズを選びます。選択したファイルの形式が、TIFF または JPEG の場合に設定できます。
[両面印刷]	用紙の片面に印刷するか、両面に印刷するかを選びます。両面に印刷する場合は、開き方向を選びます。
[仕上り] - [部単位印刷]	複数部を印刷する場合、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙するかどうかを選びます。
[仕上り] - [ステープル]	印刷した用紙を 1 部ずつステープル（コーナーとじ）でとじて排紙します。企画書など、1 冊の資料として仕上げたい場合に便利です。オプションのフィニッシャーを装着している場合に利用できます。

5.6 宛先を登録する

5.6.1 短縮宛先について

よく送信する宛先を本機に登録することで、送信のたびに宛先を入力する手間が省けます。本機に登録した宛先を、短縮宛先と呼びます。

短縮宛先は、2000 件まで登録できます。登録できる宛先の種類は、送信のしかたによってメールアドレスやコンピューター名などになります。



短縮宛先は Web Connection でも登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

5.6.2 短縮宛先を登録する

設定メニューから登録する

1 [設定メニュー] - [宛先 / ポックス登録] をタップします。

2 登録する宛先の種類を選びます。

3 宛先情報を入力し、[OK] をタップします。

[ファックス送信]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[ファックス番号]	宛先とするファックス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、[外線] をタップします（[E] と表示されます）。登録されている外線番号が自動的に挿入されます。 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号のあとに [ポーズ] を入力すると（[P] と表示されます）、より確実なダイアルができます。 ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときは、[トーン] をタップします（[T] と表示されます）。 [:] は、ダイアルの区切り記号として入力します。ダイアルには影響ありません。
[回線設定]	必要に応じて、登録する宛先に対するファックスの送信のしかたを指定します。ここで指定した内容は、ファックスの送信前に変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> [ECM] : ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファックス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。 雑音が多い電話回線で送信する場合は、通信時間が長くなることがあります。このような場合は、ECM を OFF に設定して送信することで、通信時間を短縮できます。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。 [V34] : V34 とは、スーパー G3 のファックス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されている場合など、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。 [宛先確認送信] : 宛先確認送信機能を使うときに ON にします。ファックス送信に指定したファックス番号と、送信先のファックス番号情報 (CSI) とを照合し、一致した場合にファックスを送信します。

[E-mail 送信]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は「常用」に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[E-mail]	宛先とするメールアドレスを入力します（ASCII 文字 320 バイト以内）。

[SMB]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は「常用」に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[接続先]	宛先とするコンピューターの情報を登録します。
[ホスト名]	宛先とするコンピューター名（ホスト名）または IP アドレスを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> コンピューター名（ホスト名）の入力例：「HOME-PC」 IP アドレス（IPv4）の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス（IPv6）の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[ファイルパス]	[ホスト名] に入力したコンピューターの共有フォルダー名を入力します（255 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 <p>共有フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダー名の間に「¥」を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan¥document」 </p>
[ユーザー ID]	[ファイルパス] に入力したフォルダーのアクセス権限を持つユーザー名を入力します（255 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> ワークグループユーザーの場合は、ユーザー名だけを入力します。入力例：「User01」 ドメインユーザーの場合は、ユーザー名 @ ドメイン名を入力します。入力例：「User01@abc.local」
[パスワード]	パスワードを入力します（127 バイト以内）。
[参照]	ネットワーク上のコンピューターを検出して、共有フォルダーを選びます。選んだフォルダーの情報が登録されます。

[FTP]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[接続先]	宛先とする FTP サーバーの情報を登録します。
[ホスト名]	宛先とする FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します（253 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> ホスト名の入力例：「host.example.com」 IP アドレス (IPv4) の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス (IPv6) の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[ファイルパス]	[ホスト名] に入力した FTP サーバーの保存先フォルダーネームを入力します（127 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 FTP フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダーネームの間に「/」を入力します。 入力例：「scan/document」 ファイルパスを入力しないときは、「/」のみを入力します。 入力例：「/」
[ユーザー ID]	宛先の FTP サーバーで認証が必要なときは、ログインできるユーザー名を入力します（63 バイト以内）。
[パスワード]	パスワードを入力します（63 バイト以内）。
[詳細設定]	FTP サーバーとの通信方法に関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [ポート番号]：必要に応じて、ポート番号を変更します。通常はそのままお使いいただけます。初期値は [21] です。 [Pasv]：お使いの環境で PASV モードを利用しているときは、[ON] を選択します。初期値は [ON] です。 [プロキシ]：お使いの環境でプロキシサーバーを利用しているときは、[ON] を選択します。初期値は [OFF] です。

[WebDAV]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[接続先]	宛先とする WebDAV サーバーの情報を登録します。
[ホスト名]	宛先とする WebDAV サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します（253 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> ホスト名の入力例：「host.example.com」 IP アドレス (IPv4) の入力例：「192.168.1.1」 IP アドレス (IPv6) の入力例：「fe80::220:6bff:fe10:2f16」
[ファイルパス]	[ホスト名] に入力した WebDAV サーバーの保存先フォルダー名を入力します（142 バイト以内）。 <ul style="list-style-type: none"> 入力例：「scan」 WebDAV フォルダー内のフォルダーを指定したいときは、フォルダー名の間に「/」を入力します。 入力例：「scan/document」
[ユーザー ID]	[ファイルパス] に入力したフォルダーのアクセス権限を持つユーザー名を入力します（63 バイト以内）。
[パスワード]	パスワードを入力します（63 バイト以内）。
[詳細設定]	WebDAV サーバーとの通信方法に関する設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> [ポート番号]：必要に応じて、ポート番号を変更します。通常はそのままお使いいただけます。初期値は [80] です。 [プロキシ]：お使いの環境でプロキシサーバーを利用しているときは、[ON] を選びます。初期値は [OFF] です。 [SSL 設定]：お使いの環境で SSL を利用しているときは、[ON] を選びます。初期値は [OFF] です。

[インターネットファクス]

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[E-mail]	宛先とするメールアドレスを入力します（ASCII 文字 320 バイト以内）。
[詳細]	[E-mail] に入力したメールアドレスを確認できます。
[相手機受信能力]	宛先の装置が受信できる原稿データの仕様として、[圧縮形式]、[解像度] をそれぞれ選びます。



参考

- 登録した宛先の設定内容を確認するときは、登録名を選び、[設定確認] をタップします。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選び、[編集] をタップします。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選び、[削除] をタップします。

スキャン送信モード／ファクスモードのトップ画面から登録する

- 1 登録したい宛先の種類に応じて、[スキャン (E-mail)]／[スキャン (フォルダー)]／[ファクス]をタップします。
- 2 [宛先登録] をタップします。



- 3 [新規入力] をタップし、登録したい宛先の種類をタップします。
- 4 宛先情報を入力し、[登録] をタップします。
→ 登録内容については、設定メニューから登録する場合と同じです。詳しくは、5-22 ページをごらんください。

6 索引

6 索引

U

- USB メモリー 5-20
印刷のしかた 5-21

あ行

- 宛先登録 5-22
インターネットファクス機能 5-16
オプション構成 2-4

か行

- 各部の名前 2-2
前面 2-2
背面 2-3
- コピー機能 5-17
コピー機能の紹介 5-19
コピーのしかた 5-17

さ行

- 準備
- 印刷 (USB 接続) 5-5
 - 印刷 (ネットワーク接続) 5-2
 - ネットワーク設定 4-2
 - ファクス 4-3
- スキャン機能 5-10
概要 5-10
送信のしかた 5-11
- 操作パネル 2-9

た行

- タッチパネル
- 使用上のご注意 2-12
 - 操作 2-11
- 短縮宛先 5-22
登録のしかた 5-22
- 手差しトレイ 3-5
- テンキー 2-11
- 電源 2-6
電源キー 2-8
電源スイッチ 2-7
- トップメニュー 2-13
- トレイ 1 3-7

な行

- ネットワーク設定 4-2

は行

- ファクス機能 5-13
概要 5-13
- 受信機能の紹介 5-16
- 準備 4-3
- 送信機能の紹介 5-16
送信のしかた 5-14
- プリンタードライバー 5-2
インストール (USB 接続) 5-5
インストール (ネットワーク接続) 5-2
初期設定 5-8

- プリント機能 5-2
印刷のしかた 5-9

ま行

- 文字入力 2-12, 2-15

や行

- ユーザーズガイド 1-2
- 用紙
- 使用できない用紙 3-4
 - 対応用紙サイズ 3-3
 - 対応用紙種類 3-2
 - 保管のしかた 3-4
- 用紙のセット
- 手差しトレイ 3-5
 - トレイ 1 3-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039 (受付時間：土、日、祝日を除く9:00~12:00 / 13:00~17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社

